

令和8年度 地域と共にある学校づくり研修会 ～コミュニティ・スクールの充実【市町村立学校】～ 実施報告

《日 時》	令和8年8月21日（金）	9:30～11:30
《場 所》	県立教育研究所 大講座室	
《参 加》	コミュニティ・スクールを導入している県内公立幼・小・中・義務教育学校（幼稚園型認定こども園を含む） の管理職 ※コミュニティ・スクールを導入していない学校の管理職も参加可	計 44 名
《内 容》	9:30～ 9:35 開会 9:35～ 10:45 講演 「CS（学校運営協議会）設置後の充実を求めて」 滋賀県甲賀市立水口中学校学校運営協議会 副会長 宮治 一幸 10:55～ 11:25 質疑応答 11:25～ 11:30 閉会	

◆講演概要

学校長としての経験を基に、具体的な実践と展開を通して、コミュニティ・スクールの充実に向けた体制整備の方策や「一年一熟議」「事務局体制の構築」等、学校運営協議会を機能させるための工夫について講演いただいた。

◆講演内容

- CS（コミュニティ・スクール）は、捉え方や活かし方次第で大きな成果を生む、非常に価値のある制度である。学校運営協議会を設置すれば形の上では「CS（コミュニティ・スクール）」になるが、設置すること自体が目的ではない。大切なのは、設置したCSを自分の学校でどう活かすかである。
- 管理職が「目の前の子どもたちにどんな力を身につけてほしいか」「どう育てていきたいか」という思いやねらいを、学校運営協議会で地域の方々と共有し、「今行っている取組」に少し工夫を加え、「地域住民同士」「子どもと地域の人」「教職員と地域住民」の交流を生み出していく視点が大切である。既存の取組に何をプラスできるか、どう視点を変えて工夫できるか。それこそが、今、管理職に求められている発想なのだと思う。
- 地域にはさまざまな魅力や課題がある。学校は孤立した存在ではなく、あくまで地域社会の一部である。だからこそ、地域の良さと課題について、子どもたちの関わりを通して学校も一緒に考えていく必要がある。一方で、学校で過ごす子どもたちの強みや課題も、地域へ積極的に共有していくことが大切である。つまり「子どもたちにどんな力を身につけさせたいか」という目標を学校と地域が共有し、一体となって育てていく。そのための重要な推進拠点となるのが、学校運営協議会である。
- 私はCS校に携わるまで中学校現場が長く、学校が地域から孤立していると感じることが多々あった。「授業中なのに生徒が自転車で街を走っている」「公園で溜まっている」といった批判の電話を受けるたび、学校・地域・家庭が互いを指摘し合い、責任を押し付け合う醜さを感じて悲しくなった経験がある。CS制度への本質的な転換とは、この「批判のサイクル」を「支援のサイクル」へ変えていくことである。お互いの足りない部分をどこがどう補い合えるかを考える場こそが、学校運営協議会と地域学校協働本部の活動であるべきだ。これから人口減少が進み、人間関係の希薄化がいつそう懸念される。しかし、子どもたちを中心とした関わりを通して、地域の人々のつながりを維持し、広げていくことができるはずである。そのためのツールとして、このCS制度と地域学校協働活動を充実させていきたいと考えている。
- 何より大切にしたいのは、子どもたちが「この地域で育ってよかった」「自分の住んでいた地域を誇りに思う」と感じてくれることだ。将来、地元に残るかどうかはそれぞれの人生である。ただ、何処で暮らすようになっても、「自分にできることをやって、地域づくりに貢献しよう」と思える大人になってほしい。それが結果的に、自分たちの手で地域を創り出していく「自治の力」を育む第一歩になる。ぜひ、こうした視点を大切にしながら、それぞれの学校のCS活動を見つめ直し、工夫して進めてほしい。
- 学校と家庭、そして地域を行き来しながら成長していく子どもたちに対して関わる「大人の姿勢」だけは、どんなときも共に一緒にいたい。これこそが、私の願いであり目指す姿である。



《参加者の感想》

- コミュニティ・スクールを充実させていく上で、地域や人を知ること、つながることが大変重要な要素の一つであると感じました。
- 校長の役割の大きなものに地域住民との関係づくりや信頼関係の構築があると思います。丁寧な関係づくりのもと学校と地域との壁をできるだけなくし、共に子どもの成長を支援する協力者としての関係をしっかり構築していきたいです。
- 来年以降の新しい人材の確保についてどうしたらいいのか困っていたところでした。講演の中でその点を深くお話いただき、具体的な手段を知ることができました。
- 本校の状況と比較しながら講演を聴いていました。現在の状況から脱却しないといけない時期にきています。何から取り組むべきかを改めて考える機会になりました。

